

研究講習事業報告

学発番号: 学21-009★(日臨技推進事業)
事業名: チーム医療研究班 第1回R-CPC(Web症例検討会)
日時: 令和3年8月19日(木)18:30~20:30
場所: Web開催
主題1: 「R-CPC 検査結果から見えるもの~意識消失~」
症例提示者 横山 健輔技師(京都桂病院)
パネリスト① 宮川 大樹技師(京都市立病院)
パネリスト② 佐賀井 聡技師(京都大学医学部附属病院)
パネリスト③ 織田 誠(京都桂病院)
参加数: 総数:47名(京臨技会員:39名)
報告者: 齊藤 祐巳子(京都大学医学部附属病院)

以下、講演内容など

チーム医療として検査技師同士の情報共有や臨床検査の総合力向上も重要であると考えR-CPCの研修会を企画しました。初回となる今回は「意識消失」をテーマに検討しました。今回は検査結果だけでなく患者の病歴や内服薬も詳しく提示しました。パネリストとして普段の業務担当として生理検査担当技師2名と生化学担当技師1名を招き、それぞれの専門分野の視点で読み解いていきました。それぞれの技師により着目点が異なり、ディスカッションを行い大変興味深い研修会となりました。